

先端技術をいち早く  
発掘に応用

——最初に、先生のこれまでの「ご経験をご紹介  
いただければと思います。

**吉村**——10歳のときに『ツタンカーメン王のひみつ』という本を読んだのが、エジプトに興味を持ったきっかけでした。1964年に早稲田大学に入り、1966年9月に川村喜一教授と学生の仲間5人で早大エジプト隊を組織し、初めてエジプトに赴きました。以来40年以上発掘調査を継続しています。

1983年にはルクソール西岸の貴族の墓で200体のミイラを発見しましたが、そこで初めてCTスキャンとコンピュータグラフィックでミイラを復原しヨーロッパに発信。以降、電磁波探査レーダーや微小重量計など、最新のハイテク技術を考古学に応用し調査をしてきました。こうした取組みが、1987年のクフ王の大ピラミッド内部の未知の空間や「第2の太陽の船」の発見につながりました。また、1996年には東海大学と共同で衛星画像の解析で遺跡を発見。3400年前のツタンカーメン王の側近イパイの墓を見つけ、そこからツタンカーメン王とアンケセナーメン王妃の指輪を見つけた。さらに、2005年には未盗掘完全ミイラ「セヌウ」、2007年にはエジプト学史上非常に珍しい「親子のミイラ」が埋葬されている

## 吉村

YOSHIMURA  
Sakuji作治  
さん

## に伺いました

古代エジプト研究における経験・実績をふまえて、  
わが国の公共事業についてのお考えを伺った。

未盗掘墓を発見しました。

1996年の人工衛星の画像解析から始まり、2年に1回くらいは新発見をしています。こうした発見のためにさまざまな先端技術をいち早く取り入れてきたというのが僕の特徴です。また、常に世界に目を向け、たくさんの方を育ててきました。現在研究室には20名が所属していますが、半数の10名は博士号を持ち、国際的に活躍しています。日本はエジプト考古学では今から50年前はまったくの番外でしたが、今は世界でも3本の指に入るまでになっています。弟子の質や発見の質で考えたら世界一に近いと思います。

## 既成概念に縛られない

——先生の調査の仕方を拝見していると、土  
木的な地下探査や物理探査方式をよく取ら  
れています。地下埋設物や空隙を調査したり、  
水の層を測ったりする。それはまさにわれわれ  
の調査と同じです。それはどのようなところが  
ら発想されるのでしょうか。

**吉村**——調査の方法はすべて自分で考えま  
す。新聞などパブリックな情報から得たもので、  
そこからオリジナルなアイデアに結びつけてい  
きました。

欧米の調査団は、1798年のナポレオン遠  
征以来の歴史がありますから、エジプト考古学



は自分たちのものだと思っていますし、伝統を踏み外すのが非常に難しいのです。日本はそういう伝統がありませんし、僕が先駆けですから、その場その場で工夫して、自分の知恵ですべて切り拓いてきました。

大事なことは既成概念に縛られないということです。自分で考え、自分でやってみる。だから、今は当たり前ですが、僕は実験考古学を考古学の中で初めて試み、やってみないことにはわからないと30年前にミニピラミッドもつくったのです。

## ピラミッド建造は 年間を通じた公共事業

——古代エジプトと現代日本を比較した場合、特に土木業界(国家事業)に共通する点、これからの日本にとって参考になる点を教えてください。

**吉村**——イギリスの物理学者でエジプト考古学者のクルト・メンデルスゾーンは、ピラミッドの建造はナイル川が氾濫すると畑が水浸しになるので、その間の救済のためにやった公共事業だという画期的な説を発表しました。それは20世紀

初頭、ケインズが言い始め、イギリスが適用した国家資本主義と同じ考え方で、アメリカも1929年の世界恐慌に陥ったときに公共事業を行うことで不況からの脱出を図りました。

ですから、ピラミッドは今まで夏場だけつくっていたと言われていました。しかし、今回新たに春にも秋にもやっていたという文字の証拠を発見しました。「施政14年の春に切った」と書いてある石や、「12年秋にこの石を積んだ」という記述を見つけたのです。ということは、夏は石を運んだだけで、年間通じて建造が行われていた。ピラミッド建造はナイル川氾濫のときの農民の失業対策というのは誤りで、季節的な公共事業ではなく、国家の年間を通じた公共事業だったのです。

今、東日本大震災で大きな公共投資をします。それは緊急なのでしようがないという面もありますが、もしそれだけのお金を使うなら、もつと前から恒常的に10年20年にわたってやっていたら、もつと被害を小さくできたのではないのでしょうか。公共事業では道路ばかりつくってどうするという意見もありますが、都会の人間だけが高速道路を享受して、田舎だから必要ないというのは民主主義ではありません。道路網はちゃんとつくるべきで、第2東名も日本では絶対必要です。アメリカでは東海岸と西海岸の間に3本の国道が通っていて、どこが潰れてもいいようになっています。東名だけではトンネルが一つダメになれば交通が遮断されてしまいます。東海道新幹線も同じで、リニア中央新幹線も必要です。インフラとはそういうものなのです。